

感想 - 気づき

原田メソッド認定パートナー養成講座の皆様

このたびは貴講座を受講させて頂きありがとうございました。

私は福島県にある地域の総合病院で勤務医として働いております。院内に総合診療科を設立し、診療・教育・研究を実践する中で、東日本大震災以降、さらに悪化した福島の医療と向き直し、福島県民に明るい未来を創出するというMissionに共鳴し、3年前の立ち上げ時から本格的に参画しています。

この3年間の総合診療の実践（救急・一般外来・診断や治療の困難事例に対応）と研修医や医師以外の多職種教育に力を入れてまいりました。結果として救急車の受入れ率は向上し（70→85%）、院内の様々な地域住民や医師会からも高い評価を得る一方、初期研修医も着任前は定員割れする事が多かったのが、着任後3年間は競争率2倍程度の応募があり、毎年6名の定員枠が埋まる程の人気病院になりました。

ここで初期に掲げたMissionから見た目標のうち、診療・教育は十分達成できていると思うのですが、もう一つの研究面に関しては、私個人が十分実践できていない状況であり、どうすれば目標を達成できるか日々悩んでまいりました。特に多職種教育の一環として結成した医療チームはメンバーそれぞれに専門性を発揮してチームとして機能はしていますが、メンバー一人ひとりが夢を描き、そのための目標を達成する事についてどう導いていけばいいのか、そのスキルが自分には無く不安を感じていました。

そんな時に原田メソッドの存在を知り、これら2つの目標を達成するために病院事務長と相談し、病院で貴講座を受講料を負担する形で参加することになりました。遠方のため、4回のセミナーのうち最終回（東大会場で受講できませんでした）が、参加者の故郷の志の高さと、原田先生や認定インストラクターの方々の原田メソッドと心の距離が近いという気持ちから都合上、時間を忘れるほどの楽しい時間を共有し学びを深めることができました。ウェブ視聴でも勉強にはなりましたが、いわゆる「場の強利力」が感じやすくて感心は、やはり会場で受講するが一番だと感じました。

私は患者や他の医療者とのコミュニケーションと大切にする立場を重視しており、このメソッドで学んだスキルはどなたも一生の宝物ですが、その中でも特に、言葉の力、そして態度教育のスキルは私にとり、至宝と取りたいです。「主体変容」

「心のコップも上向きに」、「一寸先は光です」などはすでに現場で実践し、非常に役立っています。特に、長目やOWの作成にやる時、感じに事なかず書き出していくと、想像がふくらみ、それを思い描くと心がワクワクしている自分に気付きました。未来を、強烈にそして鮮明に思い描き、その今の自分と見比べる事、これこそが目標を達成し、一步一步夢に近づくという魔法の瞬間だと思います。

現在私は作成した長目と基に、自身の目標達成のための行動を開始し、認定パートナーとなる時に備え、すでに職場のチームメンバーに原田メソッドを宣伝するのと共に、ピアコネクターに協力してこれに4ヶ月間のメンタリングを開始しています。

私は原田メソッドの受講開始時の目標である、自分の臨床研究の意義とチームメンバーの目標達成サポートを必ず達成します。これまでの二階等に感謝すると共に、これから認定パートナーとなつて4ヶ月の仲間に加わると確信して感想とさせて頂きたいと思っております。

東 光久